

## 技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

安芸太田町立筒賀中学校

教 諭 川 上 博 子

- 1 日 時 平成22年5月27日(木) 第5校時
- 2 学 年 第1学年1組(男子4名 女子3名 計7名)
- 3 題材名 「私たちの衣生活 ―快適で豊かな衣生活について考えよう―」

### 4 題材について

#### ○ 題材観

私たちの生活は物質的に豊かになり、さまざまな衣服が店頭並び、手軽に購入できるようになっている。そのような中で中学生が衣服を選ぶとき、流行やデザイン、他の人に映る自分の姿を意識して購入するケースが多く見られる。また、毎日衣服を着用し快適に過ごすためには、洗濯やボタン付けなどの手入れや補修が必要になってくる。ところが、ライフスタイルの変化による家事時間の短縮、機械化で、スイッチ1つで洗濯ができたり、形状記憶タイプの衣服の登場でアイロンをかけたりすることも少なくなり、衣服の手入れや補修については親任せになっている傾向がある。こうした状況の中で、日常着の手入れに関する基礎的な技能や知識を身に付けさせ、衣服材料や汚れに応じた手入れと適切な補修を自らの手でできるようになることは、健康で快適な衣生活を主体的に送っていく上で意義深いことだと考える。

本題材は、学習指導要領に示されている内容C「(1)衣服の選択と手入れ」の「ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ」と「(3)衣生活、住生活などの生活の工夫」の「ア 布を用いたものの製作、生活を豊かにするための工夫」との関連を図って総合的に学習できるように計画した題材である。製作物をエプロンとし、補修やアイロンの取扱いについても学習できるように設定した。また、次題材の「B 食生活と自立」の調理実習で、製作したエプロンを活用させることを計画している。

#### ○ 生徒観

生徒はこれまでに、小学校家庭科でボタン付けやなみ縫いの仕方、ナップザック製作の学習を行い、中学校では、衣服のはたらきや衣服の選択の仕方について学習している。衣服の選択の学習では、購入の際に重要視するものとして、デザインや価格、サイズを上位に上げる生徒が多く、手入れのことを考えて購入した経験をもつ生徒はわずかであった。

事前調査を行ったところ、半数の生徒が、時々洗濯機を使って洗濯をしたりアイロンかけをしたりしていることが分かった。また、多くの生徒は、ボタン付けやほころび直しは「できない」と思っていることが分かった。さらに、生徒全員が「今よりもっと衣服の手入れができるようになりたい」と考えているものの、「衣服の手入れをする時に困ること」として、「自分に技術が十分身に付いていない」「方法がよく分からない」「する機会がない」など、知識や技術が十分身に付いていない様子が見られた。

#### ○ 指導観

指導に当たっては、生徒に自分の生活を振り返らせながら、課題意識をしっかりとらせる必要があり、身近な生活の中から、生徒自ら課題を発見し、解決を図る学習指導の工夫をすることが大切であると考えた。そこで、本題材では、一般的な衣服を取り上げるのではなく、毎日生徒が着用している制服と学校の体操着を取り上げ、着用後に行う洗濯やアイロン等の学習へとつなげることにより、衣生活における基礎的・基本的な知識と技術を身に付けさせることにした。また、衣服の手入れと補修については、家庭で繰り返し実践する場を設けて、知識と技術の定着を図っていききたい。

## 5 題材の目標

- 衣服と社会とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できるようにする。
- 日常着の計画的な活用を考え、適切な選択ができる。また、衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができるようにする。
- 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができるようにする。

## 6 題材の評価規準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造 する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術につ いての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服と社会とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。</li> <li>・ 日常着の計画的な活用に関心を持ち、既製服を適切に選択しようとしている。</li> <li>・ 衣服の手入れや補修について、関心をもって学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫をしている。</li> <li>・ 布を用いた物の製作を通して、自分なりに個性を生かし工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既製服の表示を調べ、適した衣服の選択ができる。</li> <li>・ 衣服材料や汚れに応じた日常着の洗濯ができる。</li> <li>・ 補修の目的と布地に適した方法で衣服の補修をしている。</li> <li>・ 手縫いやミシンなどの基礎的・基本的な知識と技術を活用して生活を豊かにする物を製作している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の社会生活上の機能について理解している。</li> <li>・ 自分の衣服の活用状況を考えて、衣服の計画的な活用の必要性を理解している。</li> <li>・ 既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。</li> <li>・ 綿・毛・ポリエステル等の手入れにかかわる性質について理解している。</li> <li>・ 洗濯の方法と特徴について理解している。</li> </ul>

## 7 指導と評価の計画（全17時間）

次	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関	創	技	知	評価規準	
1	衣服のはたらきを考えよう。（1時間）		○		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の社会生活上の機能について理解している。</li> <li>・ 着用目的に応じた着方の工夫が必要であることに気づき、考えている。</li> </ul>	観察 ワークシート
2	自分らしい着方を考えよう。（1時間）	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の種類や着方が人に与える印象の違いに関心を持ち、進んで学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>・ 個性を生かした着方を考え、目的に応じた着方の工夫をしている。</li> </ul>	観察 ワークシート

3	衣服の計画的な活用を考えよう。(1時間)	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常着の計画的な活用に関心を持ち、進んで学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>・ 自分の衣服の活用状況を考えて、衣服の計画的な活用の必要性を理解している。</li> </ul>	観察 ワークシート	
4	衣服を選ぼう。(2時間)	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既制服の選び方について、進んで自分の考えを発表し、他の生徒の意見を聞こうとしている。</li> <li>・ 既制服を選ぶ視点を理解している。</li> </ul>	観察 ワークシート	
5 (本時)	既制服の表示を調べよう。(1時間)			○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取扱い絵表示の意味を理解している。</li> <li>・ 取扱い絵表示から、日常着に適した衣服の選択をしている。</li> </ul>	観察 ワークシート	
6	日常着の手入れの仕方を考えよう。(1時間)	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の手入れに関心をもって、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>・ 手入れの必要性を理解している。</li> </ul>	観察	
7	衣服材料に応じた手入れを考えよう。(1時間)				○ ○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手入れにかかわる繊維の基本的な性質を理解している。</li> <li>・ 組成表示の意味を理解している。</li> <li>・ 衣服材料の違いに応じた手入れの仕方を理解している。</li> </ul>	観察 ワークシート	
8	洗濯をしよう。(1時間)				◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗濯機の使い方と特徴を理解している。</li> <li>・ 洗濯機を適切に使用して、洗濯している。</li> </ul>	観察 ワークシート
9	エプロン製作の計画を立てよう。(1時間)		◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイズ表示の意味とサイズの計測の仕方を理解している。</li> <li>・ 生活を豊かにするための工夫をしている。</li> </ul>	観察 ワークシート
10	エプロンの製作をしよう。(7時間)			○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手縫いやミシンなどの基礎的・基本的な知識と技術を活用してエプロンを製作している。</li> <li>・ まつり縫いができ、スナップボタンを付けることができる。</li> </ul>	観察 製作物 ワークシート	

## 8 準備物

- ・ 教科書 [東京書籍]
- ・ ワークシート
- ・ 掲示物

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ 取扱い絵表示の意味を理解し、日常着に適した衣服を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・ 取扱い絵表示の意味を理解している。
- ・ 取扱い絵表示から、日常着に適した衣服の選択をしている。

(3) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意点(◆「努力を要する」状況と判断される生徒への指導の手だて)	評価規準	評価方法
導 入	1 前時を想起する。	◇前時の学習から表示を理解することの必要性を感じさせる。 ◇表示の意味を正しく理解することで、適切に衣服の手入れをすることができることに気付かせる。		
	2 本時の内容を確認する。	取扱い絵表示の意味を理解し、日常着に適した衣服を選ぼう。		
展 開	3 予想を立てる。 ・各グループで制服又は体操着に付いている取扱い絵表示を調べ、予想される表示の意味を発表する。	◇取扱い絵表示の概要を説明した後に個人で予想させ、グループ内(3～4人)で予想を確認させるようにする。 ◇1人1個ずつ担当の表示を決め、予想した答えを小黒板に記入させる。 ◇理由を付けて、説明させる。		
	4 調べて、確かめる。 ・教科書で確認する。 ・取扱い絵表示の見方についてまとめる。  5 活用する。 ・取扱い絵表示から日常着に適した服を選ぶ。(個人)  ・答えを確認する。(グループ) ・発表する。	◆担当した表示の意味を確認し、誤りがあれば、修正した部分分かるように訂正させる。  ◇日常着に適した服について確認しておく。(洗濯機で洗濯できて、手間のかからないもの等) ◇4～5個の絵表示を組み合わせで考え判断させる。 ◆絵表示の意味を総合的に考えられるよう、アドバイスする。 ◇理由を付けて、説明させる。	・取扱い絵表示の意味を理解している。 (知識・理解) ・取扱い絵表示から、日常着に適した衣服の選択をしている。 (生活の技能)	観察 ワークシート  観察 ワークシート
ま と め	6 本時のまとめと次時の確認をする。 ・まとめノートに分かったことを書く。 ・次時の予告を聞く。	◇3文以上で書かせる。 ◇数名に発表させ、みんなで認め合う機会をもつ。		